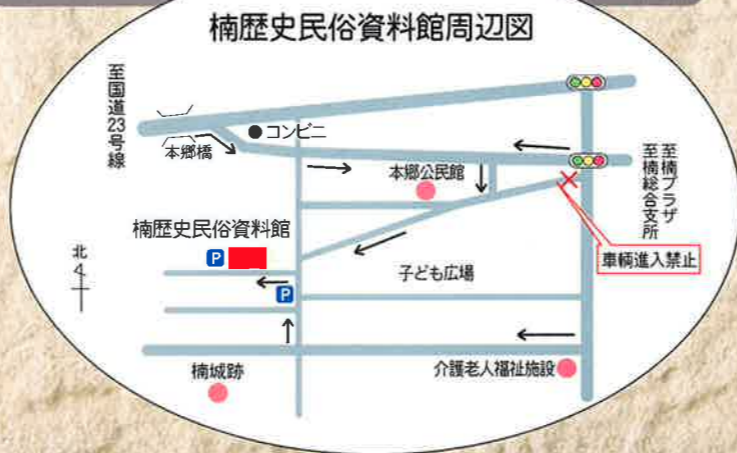


# 四日市市楠歴史民俗資料館

Yokkaichi Kusu  
History & Folklore  
MUSEUM



- 交通のご案内** 近鉄名古屋線 北楠駅下車 西へ徒歩約20分  
大型バスでご来館の方は事前にご連絡ください。
- 入館時間** 午前9時から午後5時(冬季、主屋は午後4時30分まで)
- 休館日** 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日にあたるときは、その翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)・臨時休館日
- 入館料** 無料

## 四日市市楠歴史民俗資料館

〒510-0106 三重県四日市市楠町本郷1068番地  
TEL 059-398-3636 FAX 059-398-3637  
ホームページ  
yokkaichi-shinko.com/yonbun/shiryokan/index.html

平成22年12月発行

## 旧庄屋 岡田邸



立会所



主屋

四日市市指定有形文化財(建造物)

## 旧庄屋岡田家の成り立ち

岡田家は初代楠城主・諏訪十郎貞信(正信)に同行・移住して、代々城主に仕え、天正12(1584)年楠氏滅亡の後農民となった。

資料によると、初代は治部右衛門、古文書には「庄屋武兵衛・文政12(1829)年」とあり、庄屋はこの頃から始めたと思われる。

庄屋は、郡奉行・代官の代行執政官で、年貢米の取立てやキリシタンの取締りなど、村方役と村政について協議し村の政治を行った。

代々農業を営み、庄屋を明治5(1872)年の廃藩置県まで担っていた。主屋に併設している立会所は、当初は明治3(1870)年に建設されたが、大正初期の主屋の増改築に併せて現在の建物に改築された。

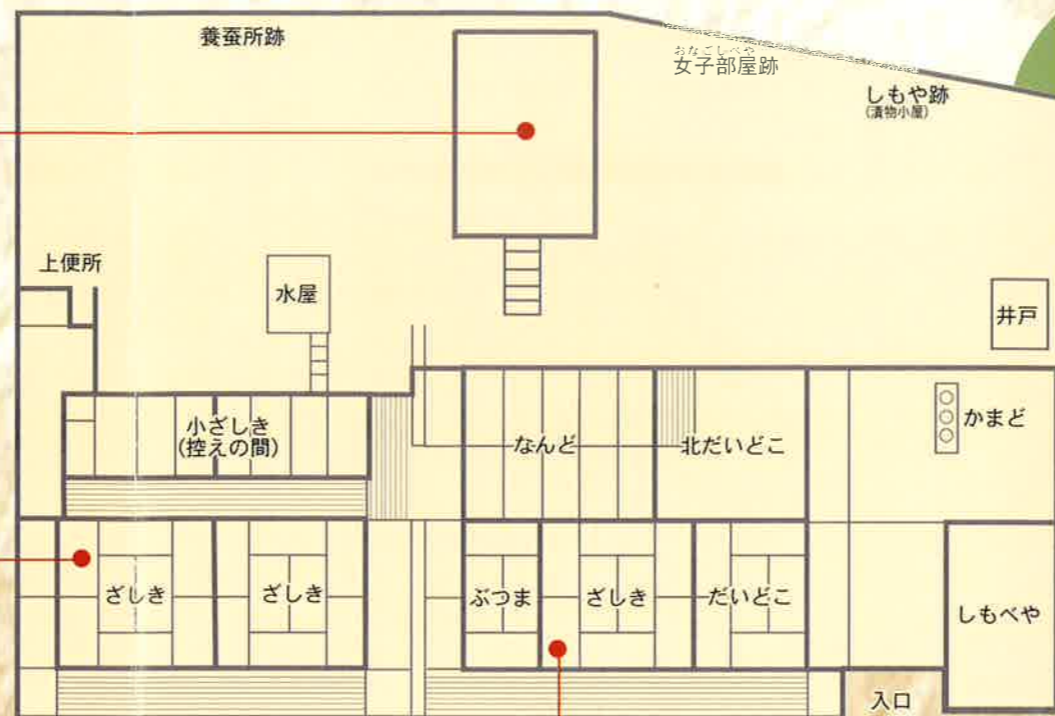
第16代の武兵衛は、大正時代には、楠村3代目の村長、昭和には初代楠町長を務めており、江戸から明治・大正・昭和の時代にわたり、地方行政に携わった旧家である。

# 資料館の

# みどころ

見て、触れて、考えて、  
 楠の歴史を身近に感じてください。  
 きっと、今までとは違った  
 新しい楠のまちを発見出来るでしょう。

## 旧庄屋 岡田邸



### 蔵

土蔵造りで、切妻造りの棧瓦葺。  
 内部は板張りだが、燃えない厚い  
 土壁で覆われている。入口に分厚  
 い片引き土扉を付けて、気密性を  
 高めている。主屋が建てられた頃  
 に造られたと考えられている。

### 立会所

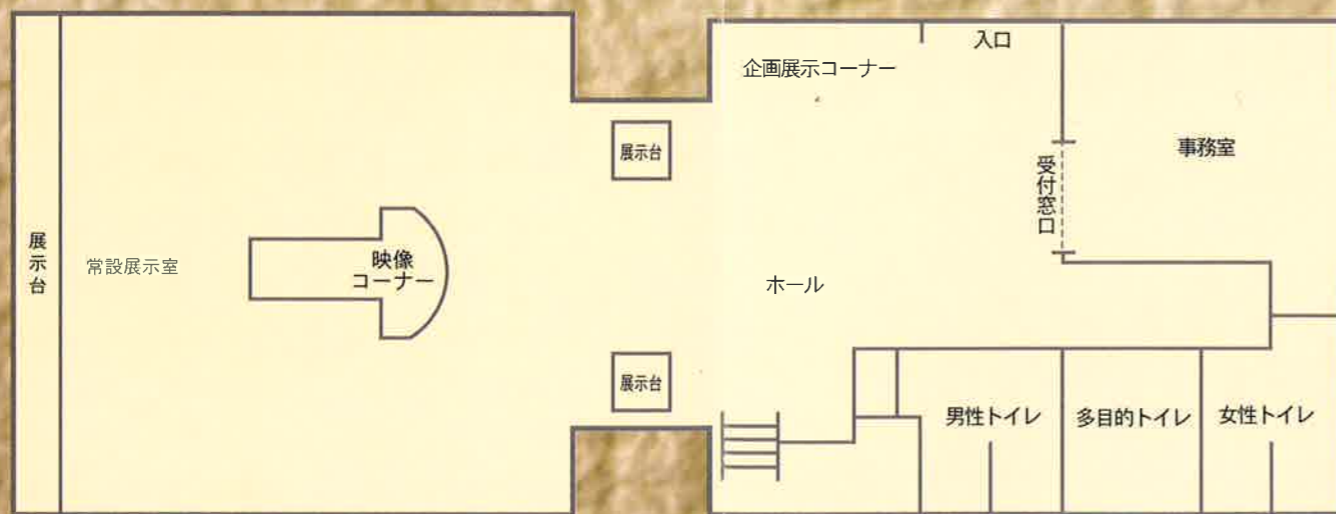
立会所とは、会議を行う場所である。その趣は主  
 屋とは異なり、洗練された造りである。

南側には上質な「ざしき」が2間あり、中廊下を挟  
 んで、北側にも床の間付の「小ざしき」が2間ある。  
 裏庭には、1坪の水屋が附属している。「ざしき」には、  
 床の間と棚の座敷飾りが備えられ、ふすまを外すと  
 大広間となり接客座敷となっている。大人数の会議  
 は南側で、北側の座敷は控えの間として使っていた  
 と思われる。

### 主屋

主屋はいわゆる居室空間である。農家には珍しい格子があり、旧庄屋らしい構えをみせる。  
 南側に東西三列の居室部、「だいどこ」「ざしき」「ぶつま」があり、北側に二列の居室部、「北だ  
 いどこ」「なんと」を配し、これら5室を、縦の食い違いで配列している。「ざしき」、「北だ  
 いどこ」、「しもべや」などの間仕切り建具に、帯板戸、小障子板戸が見られ、また、「ざしき」の鴨居に檜架  
 けが遺るなど、往時が偲ばれます。

## 展示棟



### 映像コーナー

楠地区の生い立ちや発展の歴  
 史、楠地区に伝わる祭り(南五  
 味塚の鯨船練り行事、本郷の  
 湯の花神事、北五味塚、東本郷  
 小倉の神輿)の活気ある風景  
 などを映像で紹介しています。



### 楠のまち再発見

楠地区の歴史・文化・自然・産  
 業などをパネルで紹介してい  
 ます。これまで気づくことな  
 かった楠のまちを再発見でき  
 るでしょう。その他、本郷地区  
 で発見された埋蔵文化財も展示  
 しています。



### 岡田家の紹介と収蔵品

旧庄屋岡田家の歴史、数多く  
 遺された貴重な古文書を北め、  
 当時の庄屋の生活をうかがわ  
 せる資料を展示しています。